

本證寺ハスの会たより

平成31(2019)年4月7日(日), 9時から内堀内のハスの間引き活動を行いました。安城市からの事前アナウンスのおかげで、65家族80人ほどが参加し、晴天のなか元気にレンコン掘りに汗を流していました。

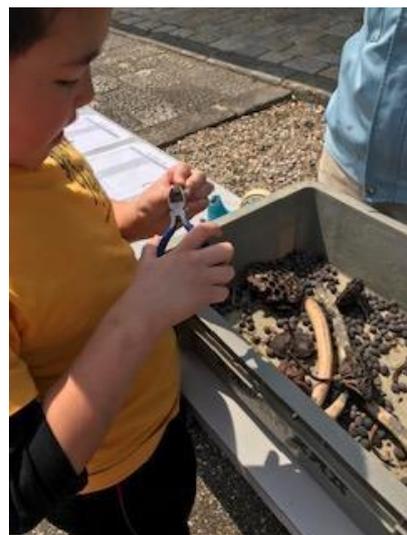
9時から経内で、生態学を専門とする愛知学泉大学の矢部教授によるカメの生態について学習しました。日本固有のカメや海外からペットとして持ち込まれたカメなどがいること、外来種のカメやアメリカザリガニなどがハスの茎を食ってしまうことで自然環境を破壊していることなど、本證寺のハスが消滅した経緯などが紹介されました。

次いで、齋藤さん(安城市文化振興課)から、本日の作業スケジュールや間引きの方法、注意事項などの説明の後、各自が好きな場所で活動を行っていましたが、時折、長靴が抜けなくなり身動きが取れなくなった参加者もいました。取れたハスの芽は観賞用に、レンコンは食用にと、各自持ち帰ってもらい、当初の目的である間引き活動は午前中に終了しました。

◎朝9時前の受け付けの後、経内での説明の風景



◎間引きの実技指導とハスの実の殻のむき方指導, カメの子どもの展示



◎レンコン掘りの様子



◎2週間後の内堀の様子



赤丸箇所を作業しました。



ハスの間引き活動が無事終わり、内堀に水が入りました。アメリカザリガニなどの捕獲用網も各所に配備され、水温の上昇とともにハスの芽が出てくるのを楽しみに待ちたいと思います。